

つるのおんがえし



「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」



やっぱり神戸は最高の街っす!!

いつもありがとうございます。感動・創庫の芦川永光です。今月も「つるのおんがえし」をお送りいたしました。今からお届けさせていただきます。今いる方もいらっしやいますので、この紙面について、ほんの少しだけご紹介をさせていただきます。

あだ名が「つる」だから、「おんがえし」

そもそもなぜ「つる」かと言いますと、少年野球に打ち込んでいた私が、チームメイトの前で「このくらい短い方が良い」と監督からペシペシやられるほど、丸坊主のお手本のような髪の長さだったの、あだ名が「つる」となりまして。それから30年以上経っても「つる」のままです。昨年、40歳の同窓会を開催した時も、同級生はもちろん先生からも相変わらず「つる、今なにしているんだあ〜?」とそんな感じですよ。



「つるのおんがえし」はサラリーマン時代の2007年に「お客様に何か役立つことをお伝えしたい」と思いつきで始めて、「いつも読んでいるよ!」と沢山の人の励みになってきたながら、ここまで続けてこれました。おかげさまで今では、全国の様々なご職業の方に読んでいただくようになりまして、もうお役立ちをお届けするなんていうのは、諸先輩方を前にしたら僣越に感じますし、若い方に新しさを勝てるわけもありませよ。やっぱりバカで真面目に続けること、私にやこれっきやないんですよ。

神戸へふたり旅



1月末に妻と二人で、神戸から和歌山、岡山へと経由する少し長めの出張に出かけました。神戸は毎月行っているけど、三宮駅周辺を離れて、ごすのは今が初めて。お腹が大きくなった妻のペースに合わせてゆっくり歩く神戸の街並みは、いつもよりもハイカラで細かい部分が華やかに感じました。和歌山ではこの地域では降るはずのない雪に遭遇し、岡山では価値観がひっくり返るほどの強烈な出会いをいただき、多分最後の二人旅は、これからのいろんなことがもっと良くなるね!と確かめ合う時間でした。独立して10年目に突入し、3月はいよいよ子供が生まる大きな節目だけに、今一度続けることの大切さを大事に考えていきます。今回からお付き合いたただく皆様へ、これからどうかご最良に!お時間許す限りでご一読をお願いいたします。



シューマイ弁当大好きな新幹線に、はしゃぐ妻!!

感動創庫
料金後納
郵便

ゆうメール

株式会社 感動・創庫

〒259-1145 伊勢原市板戸 208-103
TEL: 0463-79-9777
http://kando-soko.com
発行編集責任者: 芦川永光

